

文化人類学者が医療現場を つぶさに観察する

An anthropological approach to
disharmonious situations at the medical workplace



伊藤 泰信

知識科学研究科

2012 7/25(水) 12:40 – 13:20

会場：ラーニング・コモンズ 「J-BEANS」

医療現場、とりわけ病院のナースステーションを長時間にわたって観察する機会を得ている。

医療従事者（看護師）の日常の業務実践は多岐にわたる。それらはときに同時並行的に進み、ときに中断を余儀なくされるというように、めまぐるしく展開する。時々刻々と変化する患者の情報をできうるかぎり正確に把握、伝達・共有することが求められるなか、業務や情報伝達の抜けや洩れを避けるべく、さまざまな努力や工夫を日々看護師たちは重ねている。

本セミナーでは、ヒヤリハット(インシデント)誘発を避けるために勝手な振る舞いが制限された状況下における医療従事者の業務実践、とりわけ表立っては語られることのないローカルルールや融通性・創意工夫の持つ意味について、文化人類学のアプローチを紹介しながら、検討する。

English material will be given for the foreign (non-Japanese) audience.



ラーニング・コモンズJ-BEANSは、大学会館1階(旧・交流ホール)です。
J-BEANS is located on the 1F, Institute Hall (former 'Community Hall').

J-BEANSセミナーは、JAISTで行われている研究の知識共有を目指しています。専門家以外も楽しめるセミナーを行いますので、ぜひ講師の属する研究科以外の方々もご来聴下さい。

担当教員：知識科学研究科 教授 橋本敬